

事務事業マネジメントシート(令和 2年度実績と令和 3年度計画)

令和 3年12月22日更新

事務事業名		女性連絡協議会活動支援事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3	教育の健康		所属部	総務部	課長名	坂本 浩一郎
	施策	12	人権が尊重される社会づくり		所属課	総務課	担当者名	野邑 仁美
	施策の柱	45	男女共同参画社会の実現		所属班	総務・男女共同参画班	(内線)	1227
予算科目	会計一般	款 2	項 1	目 15	事業連番 10912	根拠法令	合志市女性連絡協議会事業補助金交付要綱	
終了、開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 2年度で終了 <input type="checkbox"/> 2年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	①男女共同参画社会づくりの推進を目的として、「合志市女性連絡協議会事業補助金交付要綱」に基づき、合志市の女性団体・グループ等で構成する事務所の運営に関する経費・研修・イベント活動に係る経費に対して補助を行う事業。 ②主催事業には市が共催・協力することにより、男女共同参画や地域に根ざしたまちづくりを推進する。 ※平成13年に旧合志町の女性議員(男女共同参画推進懇話会会長)が、大津町の女性連絡協議会にならい、当会を設立した。 【令和3年度~10905男女共同参画社会推進事業へ統合】
【業務の流れ】	補助金の支出
【主な予算費目】	補助金
【意見や要望】	現在の構成員は15団体であり、さらなる組織の拡大・活性化を目指しているところである。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

①事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 2年度実績(2年度に行った主な活動)(DO)	合志市女性連絡協議会まちなっと“セラヴィ”への補助金の支出を行った。	3年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 男女共同参画社会推進事業へ統合するため事業廃止
【基準に達しなかった理由】セラヴィが計画していた事業について、新型コロナウイルス感染拡大防止のため大幅に実施が出来なかったことにより、補助金の返納となったため。		
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 千円	予算の主な増減の理由
→ ア: 補助金額		男女共同参画社会推進事業へ統合による事業費の減
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	女性連絡協議会まちなっと“セラヴィ”	②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) 団体
		→ ア: 構成団体数
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	男女共同参画社会の推進を含めた地域づくり活動が活発にできるようにすること。	③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) パーセント
		→ ア: セラヴィが当初計画した事業を完了した割合
*③成果指標設定の理由と3年度目標値設定の根拠		総トータルコスト全体計画 ~ 年度
男女共同参画社会の推進を含めた地域づくり活動が、活発にできるようになることがこの事業の意図であるため、当初計画した事業を完了した割合とする。		0

各指標・総事業費の推移	単位	30年度	31年度	2年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込	
①活動指標	ア 千円	360	360	360	73	0	0	0	0	
	イ									
②対象指標	ア 団体	14	15	15	15	0	0	0	0	
	イ									
③成果指標	ア パーセント	100	100	100	13	0	0	0	0	
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A)事業費計	一般財源	千円	360	259	360	72			
		(A)事業費計	千円	360	259	360	72	0	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(B)人件費計	千円	78	198	199	78	0	0	0
人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	0	0	0		
	延べ業務時間	時間	20	50	50	20	0	0		
	(B)人件費計	千円	78	198	199	78	0	0		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	438	457	559	150	0	0		

事務事業名	女性連絡協議会活動支援事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	---------------	-----	-----	-----	-----

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は2年度の事後評価、ただし複数年度事業は2年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 2年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	② 3年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 毎月運営委員会を開催しているので、そこで自分達が何をやりたいか論議し、計画的に実施されれば達成される。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 加入団体等を増やし、実施する活動事業等により多くの市民が参加することで、成果を向上させる余地はある。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 【令和3年度～10905男女共同参画社会推進事業へ統合】
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 補助金のみである。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 業務内容は、補助金の申請・交付事務で、最低限の業務である。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 全市民を対象に活動を行っており、公平・公正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 市の事業は補助金交付事務、活動への協力・助言等であるため適正である。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

各種の地域づくり活動を展開し、地域活性化という目的に関しては大きく寄与した。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>【令和3年度～10905男女共同参画社会推進事業へ統合】</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						